

# 令和4年第3回定例会（6月）

## 一般質問

質問 順位	議席 番号	質問者	質問 順位	議席 番号	質問者
1	9	田村計久	6	1	高波大吾
2	10	佐藤守正	7	6	高橋政喜
3	3	南雲好幸	8	5	並木利彦
4	11	白井孝雄	9	12	南雲正
5	2	渡辺千恵			

質問事項	質問要旨	答弁 要求
<p>1. 人口減少、移住定住政策について</p>	<p>2016年湯沢町人口ビジョン&amp;総合戦略により、2040年に人口6,650人を確保するとして、湯沢町総合戦略を作成し、ターゲットを24歳から35歳に設定して、取り組み始めて7年目となる。現状と課題、対策について伺います。</p> <p>① ターゲットの若者世代が増えたということだが、出生率は低く児童数が極端に減少している。ターゲットの年齢層や若者の出入りも多く安定しない。町長はどのようにみているか伺います。</p> <p>② 人口減少幅が穏やかな要因に、60歳以上の転入者が多いことも要因となっている。高齢化率の高いマンション居住者などの高齢者対策・福祉対策を、今後どのように進めるか伺います。</p> <p>③ 移住定住・Iターン・Uターン政策については、取り組む事業者の努力もあり、若者の移住など成果があがっている。長く住んでもらうには、収入源の確保が最大の課題となるがその対策は何か伺います。</p> <p>④ リモートワーク・テレワークになど支援し、関係人口・交流人口の拡大から移住推進を模索しているが、現状をどのように評価しているのか伺います。</p> <p>⑤ これまでの起業支援者のその後、経過実態を掌握しているか。さらに、事業展開など飛躍する要素がある事業者はないか、さらなる支援は考えられるのか。私たちは、<u>起業支援</u>を受けた一部事業者しか知ることが出来ないのので伺います。</p>	<p>町長</p>
<p>2. 町民の集いと交流の場を兼ね</p>	<p>町長は、観光経済政策に500万人観光を挙げている。在職9年目となろうとしているが、政策実態は見えない。</p>	<p>町長</p>

<p>た新たな観光施設について</p>	<p>特に夏季観光については、国の経済状況や他自治体を含めイベントに依存するところが大きく、観光地として何よりも魅力に乏しいことが要因です。さらに、現在のような湯沢の状況で観光人口の増減を語るだけの観光政策では、経済の活気は生まれません。そこで湯沢地区では、小学校跡地を中心に、町が童画館と図書館など設置。土樽地区では、農作物・園芸品を中心に自然体験型施設の設置など民間企業を巻き込んだ、町民や来町者の交流拠点を計画検討する考えがないか伺います。</p>	
---------------------	---	--

質問事項	質問要旨	答弁 要求
1. 補聴器購入助成制度について	<p>社会的・経済的弱者を救済するために用意された町独自の二つの施策の実施状況を問う。</p> <p>① どれくらいの方が利用しているか。うち、町内の販売業者を利用している数はどれほどか。</p> <p>② それは事前に想定していた数と比べてどうか。</p> <p>③ 改善すべき点があるとすればどのような点で、どのように改善するつもりか。</p>	町長
2. 人工透析患者の通院のための運転代行業業について	<p>① 担当課からは、「検討したが、実施は難しい。」との情報は貰ってはいるが、どのような検討をして、なぜ実施できないとの結論になったのか、その経緯を明らかにしてほしい。</p> <p>② 以後、通院困難者の救済措置を検討することはないのか伺う。</p>	町長

質問事項	質問要旨	答弁 要求
<p>1. 「持続可能なまちづくり」に対し、再生可能エネルギーの活用・促進について</p>	<p>温暖化・環境問題の深刻化、とりわけ人口減少・少子高齢化の進行、社会経済環境の変化により国・県では「持続可能なまちづくり」への方向転換が図られ、これを受け2021年湯沢町都市マスタープランを改定。最上位計画の『湯沢町総合計画』も対応し策定され、人口ビジョン・総合戦略や環境基本計画などの整合・調整が図られた。そこで、『湯沢町総合計画』の〈循環型社会の形成〉には「環境負荷を低減するための取組を促進、再生可能エネルギーの活用の促進、資源循環型社会の形成を目指す」とある。</p> <p>また、2008年循環型社会形成推進地域計画を公表し、湯沢町バイオスタウン構想の認定を受けたが、2013年計画を断念した。</p> <p>そこで、『湯沢町総合計画』に「本町の観光資源でもある雪を地球温暖化から守るという観点から、町民や企業・事業所等における環境負荷を低減するための取組を促進するとともに、再生可能エネルギーの活用を促進し、資源循環型社会の形成を目指します。」とあるが、どの様な具体的施策をお考えか伺う。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 湯沢学園の再生可能エネルギー施設の活用と子供達への啓蒙・人材育成について</p>	<p>「持続可能なまちづくり」のためには、人材育成、その基本になるのは、湯沢町の子供達の育成が第一に考えられなければならないはず。湯沢学園の校門を入った所には太陽光発電のパネルが設置してある。学園建設時にはマイクロ水力発電の装置も用意され、どちらも学校教材の位置づけになっているとも聞いている。</p> <p>湯沢学園に設置されている再生可能エネルギー施設の活用状況と子供達への教育効果を教育委員会としてはどの様に評価しているか、また、今後どの様な取り組みを計画し湯沢町の将来のための人材育成を行うのか伺う。</p>	<p>教 育 長</p>

<p>3. 湯沢町の持続可能な町づくりに向けた湯沢の子供達の人材育成について</p>	<p>今後、湯沢町の持続可能な町づくりに向け、町は湯沢の子供達へ〈未来を担う人材育成〉という面からどの様に湯沢学園に働きかけて行くのか。または、湯沢町としての子育て・教育に対し具体的な施策の考えが、あるいは今なくともこれから検討する意思はあるのか伺う。</p>	<p>町 長</p>
--	--	------------

質問事項	質問要旨	答弁 要求
1. 森林環境譲与税の活用について	<p>2024年より森林環境税が導入されます。町も、今年から土樽地区において、森林所有者意向調査を行い、集積計画策定を行うことになっています。ぜひ、スピード感をもって全町に広げていってほしいと思います。各市町村においては、林業振興に本格的に取り組み始めました湯沢町も、戦後50年以上が過ぎた伐期を迎えた森林が町内各地に多くあります。早く、これらの管理をどうすべきか決めていかなければならないと思います。</p> <p>① 町は森林の現状をどのように把握し、今後どのようにしていくつもりか伺います。</p> <p>② 森林環境税が2024年度より導入されます。これを期に、森林の管理にもっと力を入れるべきだと思います。「森林経営管理権」の集約こそが林業振興の柱となると思いますが、町もそれまで視野に入れていくのか伺います。</p>	町長
2. ジュニアスキーについて	<p>今シーズンはコロナの影響で、トレーニングの段階から様々な規制が掛かり大変でしたが、全中予選を5人が通過し、全中で大いに暴れようと意気込んで乗り込んだところですが、新潟県選手団にコロナ症状が出て、途中で棄権せざる得なくなり、大変残念な事になってしまいました。</p> <p>山川純子さんが湯沢に来てくれて4年目となりました。少しずつですが、結果も出て来ていると思っています。</p> <p>① 今年度の成績とその評価は、現状でどのように分析・評価しているのか伺います。</p> <p>② 今年の中学生の選手は男子4名、女子1名の5名と聞いています。また、小学生は秋募集しますが、ゼロになってしまう可能性があるかと聞きます。育成会などではどのように捉えているのか伺います。</p>	教育長

<p>3. 鳥獣被害防止について</p>	<p>③ これからのジュニアスキーについて伺います。</p> <p>現在状況は大変厳しいと思っています。関係者がもっと知恵を出し合わないと大変なことになると思います。とにかく、出来るだけ選手・親に負担が掛からないように、募金活用も視野に入れていかなければならないと思いますが如何か。</p> <p>今年の冬・春とも、クマ・イノシシ・サルなどの出没情報がほとんどなく、静かで大変良い傾向にあると思います。</p> <p>しかし、油断は禁物です。道の駅にクマが、出没して大騒ぎとなっている県もあります。こういう時こそ、次に備えてしっかり準備を進めるべきと考えます。そこで伺います。</p> <p>① 昨年より、サルの発信機の電池切れがおき十分にサルの行動を把握することが出来なくなってきましたが、今年はどう対応していくのか伺います。</p> <p>② 現時点で最高の防御策は、電気柵であると思います。もっと、補助金を出していることなどの広報と電気柵取付などを指導・お手伝い出来る人の確保が必要と思うが如何か。</p>	<p>町 長</p>
----------------------	--	------------



質問事項	質問要旨	答弁 要求
1. 成人式について	<p>新型コロナウイルス禍で実施できなかった成人式が、GWに行うことができました。本当に嬉しいことでした。</p> <p>2022年4月より、成人年齢が20歳から18歳へ年齢が引き下げられました。</p> <p>市町村ごとに、何歳の時に成人式をおこなうのか、今後検討することになると思いますが、わが町は何歳で成人式を行うのか。また、今回GWに成人式を行いました。今後はお盆である8月14日開催に戻すのか併せて伺います。</p>	町長
2. 町のイベントについて	<p>新型コロナウイルス禍により、イベントを行うことができませんでした。しかし、この5月15日、3年ぶりにグリーンフェスが行われ、子供から高齢者の多くの方々が楽しむ姿、笑顔を見れて「やっぱりイベントは大事だ。」と改めて思いました。今年度は中止と決めた「秋桜マラソン」来年度は実施する方向なのか伺います。</p>	町長
3. 東口エリア、商店街エリア活性化計画について	<p>令和3年度の予算に200万円の予算が盛り込まれ、東口エリア商店街エリアのリサーチ計画案を芝浦工業大学の学生が行いました。</p> <p>3月に商店街の方々にプレゼン、報告がされました。しかし、今年度は予算が上がっていません。</p> <p>① この計画に、今後芝浦工業大学は関わらないのか。また、町はこの計画をどのように進めていくつもりなのか伺います。</p> <p>② この計画の説明会・報告は、東口は広いがどこまでの範囲の町民に説明したのか伺います。</p> <p>③ 西口の足湯・歩道整備は進められ西口の景観は良くな</p>	町長

	<p>ったが、湯沢駅のもう一つの玄関口である東口は10年前から何も変わらない、シャッター通りとなり閑散としている。間もなく主水公園改修工事が始まる。東口商店街を含め活性化すべきだと思うが、町の考えを伺う。</p>	
--	--	--

質問事項	質問要旨	答弁要求
<p>1. 町政について</p>	<p>① 文化財について</p> <p>子どもたちや地域住民、来訪者も含めて地域や郷土に愛着を抱くための第一歩は知ることである。その観点に立って言えば、湯沢町誌や湯沢町史は我が町の歴史について知ることのできる格好のテキストである。</p> <p>しかし、本という媒体では実際に収蔵されている場所に赴いた上で自ら手に取る必要があり、その発行部数には物理的な限界が存在する。これをデジタル化して公開・共有することで調査・研究その他様々に使用用途の広がりを作ることが可能であると考えます。</p> <p>同様に、町にある古文書や古写真、書画といった文化資源や民謡・小唄・神楽などの伝統芸能もデジタルアーカイブ化することにより、保存と継承につなげることが可能である。映像や音楽については、録画・録音済のテープが一部の施設に収蔵されているとも聞いている。</p> <p>文化財がデジタル化されていれば湯沢学園で進められている ICT 活用教育との親和性も高い。地誌や郷土誌を調べている学生や研究者、歴史学者の探している情報が、私たちの町の文化財に眠っている可能性もある。</p> <p>地域の魅力というのは発掘し、磨き、語ることで初めて存在価値が発揮される。やる・やらないのお話の段階の議論を問うつもりはなく、「いつやるのか」「誰がやるのか」「どうやるのか」という段階であると考えます。</p> <p>湯沢町の文化財のデジタル化とその公開の道筋について、町長の考えを伺う。併せて、町内の多様で歴史ある石仏類の調査研究の取り組みの現状と保存方法について、どういった考えをお持ちであるか伺う。</p> <p>例えば、代表的な何点かを三次元測定し、破損や風化に備えるといった取り組みが必要だ。</p> <p>② スポーツについて</p> <p>平成 28 年(2016 年)に自転車活用推進法が成立し、令和 3 年(2021 年)には新潟県自転車活用推進計画が策定された。自転車の活用は、低炭素な交通システムとして 2050</p>	<p>町長</p>

年に迫っているカーボンニュートラル社会の実現に大きく寄与し、余暇の充実や健康増進効果、観光分野での活用も考えられる。

広域で進められている雪国魚沼ゴールデンサイクルルートは、我が町の湯沢地区・神立地区・土樽地区もコースに含まれている。三国峠を自転車で越えるサイクリストを見かけることもある。魚野川や大源太川に沿ったサイクリングは、町の魅力を存分に楽しんでもらえていると思う。

一方で、我が町の現状としては自転車専用道路や専用通行帯といった通行空間の確保が、まだ迫いついていないのが実情だ。

この際、グッドサイクルジャパンにあるように都市環境・健康・観光・安全の4つの観点から、これからの湯沢町の自転車活用に対する考え方を伺う。なお、「サイクリスト国政調査 2021」によれば、サイクルツーリズムの市場規模は約 1,382 万人、全体として約 1,315 億円と言われている。

次に、湯沢町にゆかりのあるスポーツ選手の顕彰について伺う。

湯沢町にゆかりのあるスポーツ選手の活躍を町としてどう考えているか、また、その功績を讃えたり語り継いでいく方法についてはどのように考えているか。

次に、次期冬季オリンピックを見据えた政策について伺う。

2026年の冬季オリンピックに向けて、湯沢町ではどういった施策を考えているのか。

町長は、開花八策については継続されているということだが、公表されている開花八策の事業行程

(<https://www.town.yuzawa.lg.jp/material/files/group/4/jigyokutei.pdf>)では、平昌五輪・東京五輪の合宿誘致で資料が止まっている。いずれも開催済みのものだ。

また、ミラノ・コルティナダンペッツォ五輪では、新しく山岳スキー5種目が追加競技として取り入れられ、競技人口の増加や練習場所の問い合わせが増えることが予想される。町長の所見を伺う。

### ③ 景観整備について

観光立町として、町並みや修景に関しては一層の配慮

が求められる。例えば、街灯・道路照明だが駅周辺などは暖色系で温かみのある色彩になっているが、あるところから道路照明・防犯灯ともほとんどが白色の電球になり、景観の連続性が途切れている。

まちづくりには常々全体的な視野を持って臨んでほしいと願っているが、街灯や道路照明のカラーリングの選定については町ではどういった基準があるか。白色が多い理由はなぜか。

次に、閉店した店舗の看板について伺う。

店舗の閉店については個々別々のやむを得ぬ理由があり、営業の休止や事業継承を断念するに至った経緯というのは様々存在すると思うが、一方で観光客等の来訪者目線でこれを見た場合、町内に残されている看板や道路案内などを見て営業中と誤認することがあると、一般の町民の方からも話を聞いている。店舗や看板も私有財産であるため、行政としての働きかけは限定的になるであろうことは承知しているが、町を挙げて観光を主要産業としている以上は対策を講じる必要があり、そういった役割を終えた看板類に対する町の方針や考え方について伺う。

#### ④ シティプロモーションについて

昨年末から町内でシベリア抑留をテーマとした、とある映画の撮影が行われていたと聞いているが、作品作りに湯沢町環境や自然が関与していることをアピールすることで、当該作品の露出と連動して町のシティプロモーションに生かすことが可能であると考えている。

例えば自治体と作品のコラボしたポスターの作成や、公開時期に合わせた撮影小道具や衣装等の展示、実際に町内で上映会を開いたり、広報誌やSNS、町のYouTubeチャンネル等で出演者から撮影時のエピソードなどのコメントをとったり、原作本や映画の半券を用いて宿泊や飲食に特典をつけるキャンペーンを行ったり、モデルになった実際の出来事について講演会を開くなどといったことが考えられる。この件についての執行部の方針を伺う。

次に、過日『雪国』を原作とするドラマの放映があったが、告知や周知徹底は十分だったか。

原作は湯沢町のパブリックイメージの大きな源泉にな

っている作品だが、町民が作品を見ていない・知らない状態では大きな機会の損失だ。ロケ地が湯沢町でなかったのは原作の時代背景を考えると仕方のないことだが、衛星放送という視聴者の限られる形態での放映をカバーするためにも、ぜひ町で上映会の検討をできないか。同じような事例として、8Kで撮影された十日町市の映像作品が同市内で上映されたという例がある、如何か。

次に、上越新幹線開業40周年イヤーということで、鉄道会社は様々なキャンペーンやイベントを打ち出している。町としてもこの大きなインフラが与えている影響は計り知れない。新幹線の節目をどのように捉え、また町の魅力の発信にどうつなげていくか伺う。

次に、公共配布カードについて伺う。公共配布カードは統一された大きさのカード型パンフレットで、ダムやマンホールといったインフラを題材にしたものや、名所・旧跡・大型施設を扱ったもの、自然遺産を題材にしたものなど様々な種類が世の中に存在している。我が町を訪れた人が集めたくなるような公共配布カードがあれば宣伝効果が見込める。

例えば、苗場山や谷川岳といった山を題材にカード化したり、「町の木 ベニヤマザクラ」や「町の花 コスモス」をカードにするのも良いだろう。公共配布カードの調査や研究は、どの程度されているか伺う。

#### ⑤ 町のホームページについて

① の質問とも被さってくる部分だが、町の公式ホームページに記載されている情報量が十分な量であると思えない箇所がある。教育目的だったり観光目的だったり動機は様々であろうが、ある人が湯沢町はどんな町であるか調べようとした時に、最初に気にする項目の第一は地理であろう。「湯沢町とはどんな町か」「山があるのか」「川があるのか」「日本のどこにあるのか」「世界のどこにあるのか」、その情報が町のホームページに載っていない。

例えば、どこかの町に行き駅の改札を出る。そこで、最初にやることは地図を見ることではないか。

役場の住所やハザードマップも確かに大事かもしれないが、まずは町の地図をわかりやすくホームページに掲載すべきだ。

地理の次は歴史だ。湯沢町はどんな町か。合併後の年表

がまとまっているのは良いのだが、合併前の情報が不足している。合併前の5村を含めた歴史、最低でも明治以降は主なトピックだけでも町の歴史として記してほしい。歴史・文化のページも情報がまちまちで、旧石器時代→縄文時代→弥生時代と来て次が戦国時代。戦国時代の次が前述したように昭和30年の合併まで抜け落ちている。

社会科の資料として町の概要をまとめているのだから、それを町のホームページにも活かすことは可能なのではないか。移住・定住を促すのであればこういった基礎の部分が重要だ。町民が町の歴史をしっかりと語れるようになるためにも、無視できない部分である。町長の考えを伺う。

質問事項	質問要旨	答弁 要求
1. 「荒戸城跡の再整備」について	<p>新潟県指定文化財「荒戸城跡」の再整備を願うものです。質問も今回で3回目となりますが、なかなか全体的な整備までには至りません。荒戸城跡の全体的な景観も、年々雑木が多くなり整備する必要があると感じますので、予算計上していただき実施することはできないか伺います。</p>	町長
2. 「新潟県指定文化財三国街道脇本陣池田家」について	<p>昨年、脇本陣池田家を管理していました関氏が体調不良で休館となり、後に体調回復せず亡くなりました。以後、脇本陣池田家は休館が続いてまいりましたが、今年4月後継として関氏の奥さんと「管理に関する契約」が済んだとの事を聞きました。</p> <p>しかし、管理の契約が済んだとしても、県指定文化財池田家の細かい説明は大変と思います。町長は、この県指定文化財池田家をはじめ歴史・文化を活かした観光地づくりと言われているので、「湯沢町都市マスタープラン」「湯沢町総合計画」の三俣地域街づくり構想における脇本陣池田家をどのようにしていくのか伺います。</p>	町長
3. 「優しい福祉サービス」について	<p>令和3年12月議会での一般質問で、町長の選挙公約の中に「優しい福祉サービス」について質問しました。高齢者が必要とされる福祉サービスとはどんなものかと伺いましたら、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、町としても引き続き取り組んでいく必要があります。と答弁されましたが、その内容は「福祉バス・路線バスの運賃助成」と「介護・医療の安定な提供」等でした。答弁の中に「買い物」もありましたので買い物について伺います。一人住まいの高齢者の買物をどのように見られているか伺います。</p>	町長



4. 「湯沢駅東口エレベーター設置」について	<p>平成 27 年 6 月議会にて初めての質問が、東口エレベーター設置の質問でありました。答弁では、駅東口は長いエスカレーターと階段しかなく、車椅子の方や子供をベビーカーに乗せている母親などには不便な状態であり、バリアフリー化の推進という観点からもエレベーターがあればというふうに感じているところであります。しかし、越後湯沢駅は JR の所有物であり、町が整備することはできません。との答弁から約 7 年が過ぎ、さまざまな交渉結果、令和 4 年の雪降り前までには完成するとお聞きしました。長年待ち望んだエレベーターの完成は遅れることなく竣工されるのか伺います。</p>	町 長
5. 「山を愛した高波吾策氏の銅像周辺整備」について	<p>高波吾策氏は、明治 44 年中魚沼郡上郷村で生まれ、昭和 15 年土樽駅前に飲食店を開いて、登山者・スキーヤーの便をはかり、登山道やスキー場の開発に取りくみました。</p> <p>昭和 25 年には「国鉄土樽山の家」の管理人となり、59 年の生涯を終えるまで多くの登山道を開き、山小屋の建設・登山指導・遭難救助と精力的に活動されました。</p> <p>茂倉新道・蓬新道・吾策新道・平標新道・谷川新道等、切り開いた登山道は数知れず、その功績を称え銅像が建てられました。現在は土樽駅の近くの町有地におかれていますが、町で整備することはできないか伺います。</p>	町 長

質問事項	質問要旨	答弁 要求
1. NFTについて	<p>① 今デジタル資産NFTが注目されている。町長はデジタル資産NFTをご存じかお伺いします。</p> <p>② NFTをデジタル資産として取り扱うには、ブロックチェーンや暗号資産のイーサリアムが必要であるがどのように必要なのかをご存じかお伺いします。</p> <p>③ 暗号資産のマイニングには、多大な消費電力により高温度の熱が発生することを町長はご存じかお伺いします。</p> <p>④ その高温度の室内を冷やすため、気温の低い地域や降雪が多い地域にマイニングを行うデータセンターが建設されていることをご存じかお伺いします。</p> <p>⑤ NFTの普及に伴い電力の需要が上がる。再生可能エネルギーを使用した発電所建設、雪室によりサーバー冷却、サーバーによる廃熱を利用しての植物栽培という持続可能な町づくり見えてくるが町長はどう思われるか。</p>	町長
2. コンテナハウス利用について。	<p>コンテナハウスは、チャレンジショップ等の簡易店舗として十分使用できる。例えば、起業支援の一環として、マスどまり周辺にコンテナハウスを設置し、若者等のチャレンジの場として、コンテナハウスを活用した事業を検討できないか伺う。</p>	町長

質問事項	質問要旨	答弁 要求
<p>1. コロナウイルス感染症収束後の観光経済の復興対策について湯沢町独自の構想は</p>	<p>政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会のマスク着用の必要性についての見解を踏まえて、政府方針が5月20日に発表された。</p> <p>このことは、2年以上求められてきたコロナウイルス感染症防止対策の転換点とも捉えられ、日常生活へ一歩近づくこととなり、歓迎されることである。</p> <p>完全なコロナ禍の収束は予測できず、次の波の襲来の恐れも懸念されるころではあるが、国もポストコロナを見据えた経済対策と規制緩和に取り組み始めている。</p> <p>新潟県内でも、長岡まつり大花火大会をはじめ感染禍で開催できなかったイベントが再開されることとなり、3年ぶりの開催となるころも多く、待ちわびていた人達に歓迎されている。</p> <p>観光の町として、コロナ禍の影響を最大限に受けながらも、頑張ってきた町民の努力に感謝しつつ、コロナ禍の収束後の湯沢町の経済、生活の復興、観光経済の早期回復を図り、町の賑わいを取り戻し、町民が日常の生活に戻れる環境整備をどのように考えているのか、町長の構想を問う。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 森林環境譲与税を活用し、「湯沢みどりの会」の意思を引き継ぎ森林を活用したイベントの実施を</p>	<p>全国の中山間地域の要望を受けて創設された森林環境税は、2024年度から年間1,000円を個人住民税に上乗せしての徴収が始まる。</p> <p>2019年から別の財源を使って配分する森林環境譲与税が先行する制度として始まり、森林の面積・林業就業者数・人口の3基準に応じて、市町村に資金が配分されている。</p> <p>しかしながら、配分額の50%近くが間伐や木材の利用促進に使われたが、50%以上が基金として積み立てられているという。全額を基金に積み立てているという市町村も20%あり、有効活用なされないため、政府内で森林環境税の見直し議論が本格化している。</p> <p>湯沢町に配分された森林環境譲与税のこれまでの活用状況と効果について伺うとともに、すでに、解散してしまった</p>	<p>町 長</p>

	<p>「NPO 法人 湯沢みどりの会」の活動理念「ブナの森は、緑のダム」は、この森林環境税のモデルとなることから、森林環境譲与税を活用して森林活用イベントの復活について、町長の見解を問う。</p>	
--	--	--